

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和 7 年 9 月) **～万博の駆け込み効果や秋物の好調等で、現状判断は上昇～**

- 景気ウォッチャー調査・9 月調査の近畿地域の結果は、現状判断が 49.6 と前月比で 2 か月連続の上昇(+4.7 ポイント)となった。大幅な上昇となったものの、好不調の判断の目安となる 50 は 8 か月連続で下回った。一方、先行き判断は 46.5 と 3 か月ぶりの低下(-0.3 ポイント)となっている。
- 足元の景気については、月下旬にかけて暑さが和らいだことで、百貨店や衣料品店を中心に秋物商材が動き始めたほか、閉幕を控えた万博による効果が目立つ形となっている。10 月 13 日の閉幕まで 1 か月を切ったことで、国内外からの来場者が大きく増え、ホテルや百貨店、コンビニを中心に、客足や売上の増加につながっているとの声が多く聞かれる。ただし、郊外の各種施設からは、「万博に客足を奪われている」といった声も上がっていることから、一概にプラスの影響ばかりとはいえない。
- 一方、インバウンド需要については、閉幕を控えた万博効果も加わる形で、百貨店やコンビニからは「前年比でのマイナス幅が縮小」、「緩やかな回復」といった声が上がっており、全体としてはプラスに作用している。
- なお、企業を取り巻くコストの上昇傾向が続く中、物価上昇による影響は依然として厳しい。特に米などの食料品価格の上昇による影響は大きく、消費者の間で節約志向が強まっており、スーパーや家電などを中心に幅広い業界で購入量の減少などが指摘されている。
- 景気の先行きについては、残暑が落ち着くことでの需要面への好影響が期待されている一方、万博の閉幕による悪影響を懸念する声が少なくない。足元で駆け込みによる来場が増えているだけに、百貨店やコンビニ、タクシーを中心に、閉幕後はその反動を懸念する声が多く聞かれる。
- インバウンドに関しても、万博の閉幕による客足の減少とあいまって、百貨店を中心に、需要の減少を不安視する声が多い。そのほかにも、米国のトランプ関税による影響は引き続き不透明な状況にあるほか、国内政治の状況についても、自民党総裁選を控えて先行き不透明感が強まっていることから、結果的に幅広い業種での見通しの悪化につながっている。
- 加えて、物価やコストの上昇に対する警戒感は、依然として強い。消費者の節約志向が強まる中、価格転嫁は困難となっており、スーパーやレストランのほか、製造業などの企業関連でも厳しい声が聞かれる。

「万博」関連のコメント(現状判断)

家計	良くなっている	コンビニ(経営者)	・大阪・関西万博の閉幕まであと 2 週間となり、インバウンドも多いが、それ以上に国内客の家族連れも増えている。それらの客に対し、片手で食べられるサンドウィッチやおにぎり、パンなどの商品を充実させて対応している。
		都市型ホテル(フロント)	・大阪・関西万博の影響が大きく、駆け込みでの来場も重なって、高単価、高稼働の動きが続いている。万博の閉幕後も、秋のトップシーズンということもあり、需要の陰りは全くみられない。

家計動向関連	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕 （管理担当）	・大阪・関西万博の終了に向けて、来客数が増えている。
		百貨店（企画担当）	・売上は、インバウンド、外商、外商以外の国内売上の全てで、前年を上回っている。インバウンドは大阪・関西万博の効果があるほか、国内売上では株価の好調が影響している。前年は8月に株価が急落し、9月の売上が非常に厳しかったため、その反動増による影響もある。
		百貨店（商品担当）	・インバウンド売上は前年を下回っている。ただし、大阪・関西万博の効果もあって国内客の売上は前年を上回り、インバウンド売上の減少を補っている。
		百貨店（宣伝担当）	・大阪・関西万博の会場の混雑と平行して、来客数が右肩上がりとなっている。インバウンドだけでなく、国内客の売上も伸びており、季節雑貨や食料品が好調であるほか、苦戦していた高級ブランドの売上も回復傾向にある。
		百貨店（外商担当）	・大阪・関西万博との相乗効果もあり、来客数は前年を上回っている。また、株価の上昇に伴い、富裕層を中心とした宝飾品などの高額品の売上が伸びている。インバウンド売上も少しずつであるが回復している。
		百貨店（サービス担当）	・今月も人気の恒例催事など、様々なイベントや催事が好調であり、前年の実績を上回る状況となっている。残暑が続かなかで、機能素材を使用した婦人用品が人気を集めたほか、帽子やグローブなどのUV対策商品も好調に動いている。また、大阪・関西万博の関連商品の売場も引き続き好調に推移している。
		コンビニ（店員）	・安定的に売上は増えているが、涼しくなれば外出の機会も増えるため、今まで以上に来客数、売上共に増加する。売上が前年を大きく上回る品目もあるなど、店の販売戦略も功を奏している。日中の来店客は8割が海外からの客であり、大阪・関西万博による効果も出ている。
		観光型ホテル（経営者）	・7～8月は大阪・関西万博関連の団体客は少なかったが、9月は万博関連の団体客が多く、来客数も増えている。
		その他レジャー施設 〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・今月も大阪・関西万博の影響で来客数の減少がみられるが、一部の施設では回復傾向となっている。
	変わらない	百貨店（外商担当）	・大阪・関西万博の閉幕に近づくにつれて、近隣エリアへの入込が更に増加し、来客数の増加につながっている。それに伴い、万博閉幕後の反動減が、少なからず懸念される。
		百貨店（マネージャー）	・国内中間層や富裕層の購買姿勢は3か月前と変化はなく、慎重な選択消費や、資産価値消費、ハレの日のこだわり消費といった傾向が続いている。特徴としては、特選品や化粧品、フレグランスのほか、大阪・関西万博、サブカルチャー関連のコンテンツは好調を維持しているが、アパレルや食品は客単価の下落などで、厳しい状況が続いている。
		コンビニ（経営者）	・インバウンドを中心に大阪・関西万博の効果が続いており、来客数が高い水準を維持している。
		旅行代理店（役員）	・大阪・関西万博は終盤を迎え、問合せが増えている。ただし、会場が近場であるため、チケットだけの販売が中心となり、大きな売上にはつながっていない。また、11月～1月の予約も増えているが、現時点では例年並みとなっている。
		旅行代理店（支店長）	・大阪・関西万博の問合せもあり、来客数は多いものの、客単価は上がらない。
		旅行代理店（支店長）	・大阪・関西万博が終盤に近づき、駆け込み来場の気運が高まる一方、予約が全く取れないという声が多く、需要の増加にはつながっていない。近場の旅行需要が万博の影響で伸びない状況にも、大きな変化はない。
		タクシー運転手	・大阪・関西万博による効果は絶大である。
		観光名所（企画担当）	・大阪・関西万博の影響が続いており、関西圏内からの客が引き続き減少している。
		遊園地（経営者）	・大阪・関西万博の影響で、観光、レジャー施設は苦戦が続いている。特に、直近では万博の1日あたりの来場者が20万人を超えており、なかなか厳しい状況である。
	なっている	一般レストラン（経営者）	・大阪・関西万博の連日の大盛況で、商店街の人通りが激減し、当店の来客数も激減している。来店客をみても、万博の話題で盛り上がっているような状況である。
企業動向関連	良くなっている	経営コンサルタント	・取引先の商店街の店主によると、都市部の商店街は大阪・関西万博の恩恵で来客数や売上が伸びているが、郊外の商店街もコロナ前の水準に戻っている。
	やや良くなっている	食料品製造業（営業担当）	・9月も残暑が続いているほか、大阪・関西万博への外国人観光客の来場数増加に伴い、飲料の売上が少し増えている。
		化学工業（製造担当）	・大阪・関西万博に来場した際、価格が高い印象を受けたが、土産物などの売行きは順調となっている。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・各駅構内の期間限定ショップでも、大阪・関西万博関連の商材が飛ぶように売れている。一方、外国人客の動きにはやや陰りがみられる。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・小売チェーンでのタオルの販売は低迷しており、従来の状況に変化はないが、大阪・関西万博会場での売上は絶対好調なほか、プロ野球関連での別注タオルの販売も好調である。さらに、映画館での入込客の増加により、館内の売店での販売が大きく増え、売上は大きく伸びている。
	変わらない	食料品製造業（管理担当）	・大阪・関西万博の影響で比較的好調に推移している。

雇用関連	な や や と い る	人材派遣会社（管理担当）	・引き続き、大阪・関西万博への人材供給が順調に推移している。その一方、他の観光産業では案件数は増えているものの、条件に合った人材の応募がなく、伸び悩んでいる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・大阪・関西万博の就業者の間では、再就労を希望する声が多い。
	変 わ ら ない	人材派遣会社（営業担当）	・大阪・関西万博もあと2週間程度で閉幕する。万博終了後の求職者の増加に関心を持っており、人材をうまく活用できれば、景気の回復が期待できる。

「気温」関連のコメント（先行き判断）

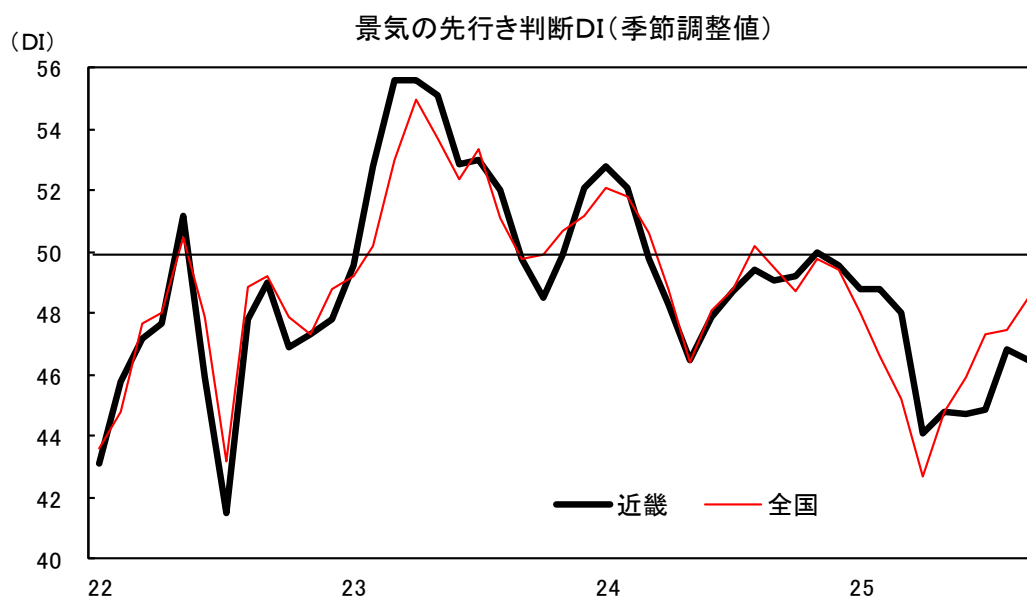
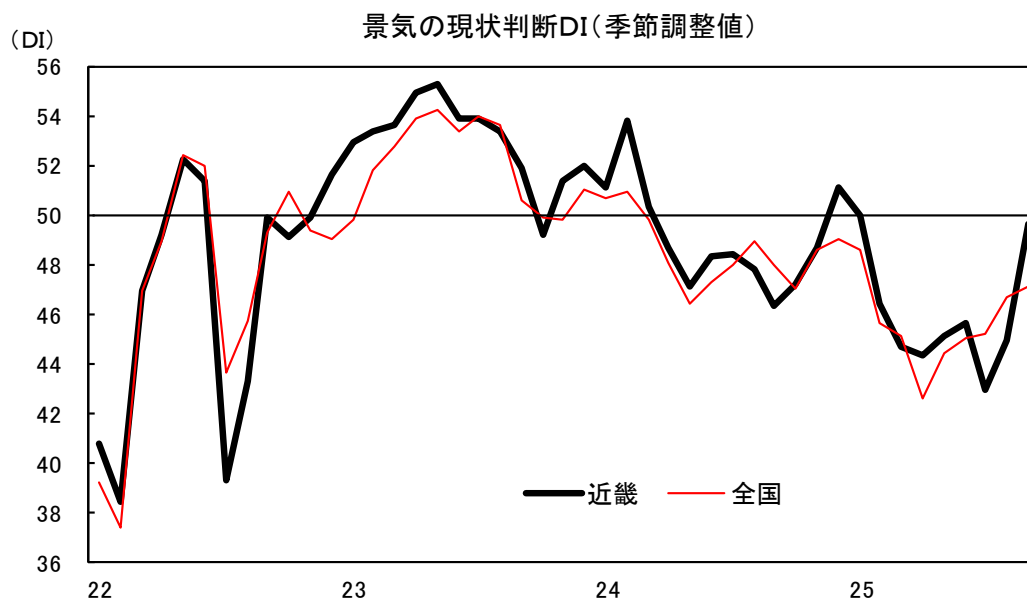
家計動向関連	や や 良 く な る	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・ようやく気候も落ち着くことで、短いながらも、食欲の秋を迎えることに期待している。
		百貨店（サービス担当）	・残暑が落ち着き、秋物商材の食料品や婦人服などを中心に、好調な推移が予想される。また、大阪・関西万博の閉幕が迫って来場者の増加が予想されるなか、引き続き万博の関連売場では売上の拡大が見込まれる。
		百貨店（販促担当）	・新たな景気対策も予想されるため、購買気運の上昇に期待している。気候面では秋が短く、すぐに冬になることが予想されるなか、気温の大きな変化がファッション関連の動きを後押しするとみられる。さらに、食料品でも暖かいメニューをタイミング良く投入することで、売場の活性化を図っていく。
		スーパー（企画担当）	・10月に入っても暑さが残る状態であるが、確実に気温は下がり、朝夕は過ごしやすくなっている。気候は来店動機を左右する重要な要素であるため、今後の動きに期待したい。売場では、夏物商材を徐々に減らしながら、秋冬商戦に向けた対応を進めていく。
		衣料品専門店（店長）	・月末になって、朝夕を中心にしのぎやすくなり、来客数も戻りつつある。それでも客との商談では、価格の上昇に対する懸念がまだ根強くみられる。また、為替の影響による仕入価格の上昇は当面続きそうで、景気の上昇が実感できるまでには、まだ時間が掛かる。
		衣料品専門店（店員）	・気温が下がるため、秋冬商材の動きが出てくる。
		高級レストラン（スタッフ）	・過ごしやすい気候となり、大阪・関西万博も閉幕するため、予約の回復が予想される。
		一般レストラン（店員）	・今年は特に暑かったため、来客数がかなり減少したが、今後は気温が下がるため、増加が期待される。
	変 わ ら な い	百貨店（広報担当）	・免税売上はしばらく横ばいの動きが見込まれる。一方、国内客の動きは気温に左右される部分もあり、不透明感が強い。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・暑い日が続き、夏物商材やスキンケア用品の動きは順調であったが、気温が落ち着いて秋冬商材にシフトするなかで、全体として鈍化傾向となっている。食品の値上げも続いているなど、大きな上昇要因が見当たらない。
		その他飲食〔洋菓子〕（管理担当）	・10月は残暑の影響が続き、11月は急な冷え込みが予想されるなど、気温の変化による影響を受ける。
	や や 悪 く な る	タクシー運転手	・大阪・関西万博が終わりに近づき、気候も良くなるため、タクシーの利用が減る。
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暑い時期の方が来客数は増加する。
企業関連	や や 良 く な る	化学工業（企画担当）	・食品需要の低迷した猛暑がようやく終わり、年末年始に向けて需要が増えると予想される。
	変 わ ら ない	輸送用機械器具製造業（経営者）	・11月頃は気温もまだ下がっていないため、通常の購買の動きが期待される。大阪・関西万博が閉幕し、期間限定で使用していた物など、当社の扱っている製品の中古品などが流通する可能性もあるなか、どのような影響が出るかは不透明である。

「万博」関連のコメント（先行き判断）

家計動向関連	や や 良 く な る	百貨店（サービス担当）	・残暑が落ち着き、秋物商材の食料品や婦人服などを中心に、好調な推移が予想される。また、大阪・関西万博の閉幕が迫って来場者の増加が予想されるなか、引き続き万博の関連売場では売上の拡大が見込まれる。
		百貨店（売場マネージャー）	・季節の変化とともに、アパレル関係の需要は活性化が見込まれる。インバウンド消費も少し落ち着いてきたため、大阪・関西万博の閉幕後は、お金の使い道が観光から通常の買物にシフトする可能性もある。
		高級レストラン（スタッフ）	・過ごしやすい気候となり、大阪・関西万博も閉幕するため、予約の回復が予想される。
		高級レストラン（企画）	・大阪・関西万博の終了に伴い、大阪に需要が集中していた状況が緩和される。また、中国を中心としたインバウンド需要の増加にも期待される。
		旅行代理店（役員）	・政権政党の総裁選挙による影響は懸念されるが、朝晩は少しずつ涼しくなり、秋の気配を感じるようになってきた。気候も穏やかになって動きやすくなるため、温泉や秋の味覚を楽しむ旅行需要の増加が見込まれる。また、大阪・関西万博の終了に伴い、今後は関西以外への旅行も活発化すると予想される。
		遊園地（経営者）	・大阪・関西万博が終了し、周辺の観光地やレジャー施設に、一定数の客が戻ってくると予想される。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・大阪・関西万博が終了し、来客数が回復することが期待できる。

家計動向関連	変わらない	一般小売店〔呉服〕（店員）	・客の間には、大阪・関西万博などのレジャーにお金を掛ける動きがみられる。
		百貨店（外商担当）	・大阪・関西万博が終了するため、来客数の面での相乗効果はなくなるものの、高額品の需要増は続く予想される。
		百貨店（商品担当）	・大阪・関西万博の閉幕後の動きには読みにくい部分があるが、大きくは変わらないと予想している。
		百貨店（商品担当）	・大阪・関西万博関連の売上が大きいと、閉幕による影響が懸念される。株高傾向が終われば、消費マインドも変調する危険性がある。政権政党の総裁選挙などによる株価や為替への影響も不透明であり、減税や物価高対策の動きなどを含めて、消費はしばらく様子見の動きとなる。
		一般レストラン（経営者）	・大阪・関西万博を訪れた客は、財布のひもが緩くなる傾向にあるが、物価の上昇に気付くと、再び固くなる。
		観光型ホテル（経営者）	・10月以降の大阪・関西万博の閉幕後も、団体客の先行予約は引き続き好調である。
		観光型旅館（経営者）	・大阪・関西万博が終了すれば、大阪以外にも人が出掛けることが期待されるものの、現時点ではまだその動きは鈍い。
		旅行代理店（支店長）	・大阪・関西万博が閉幕し、盛り上がっていた需要が落ち込む懸念はあるが、その分、周囲の観光地への需要が増える予想される。
		観光名所（企画担当）	・年間で客の多い、5月、7月、8月に大阪・関西万博の影響が出ている。今後回復したとしても、それほど来場者は増えないと予想される。
	やや悪くなる	一般小売店〔手ぬぐい〕（経営者）	・ここ数か月は、大阪・関西万博の開催による需要で売上は好調であったが、もう少しで万博も終了するため、売上の落ち込みが予想される。
		百貨店（企画担当）	・大阪・関西万博の終了で外国人観光客が減少するほか、前年は12月からインバウンド売上が急激に増加したため、今年は反動減が予想される。何とか前年の水準を目指すように、各種の施策を打ち出していく。
		百貨店（宣伝担当）	・大阪・関西万博閉幕後の来客数の減少が懸念されるほか、秋の季節が短くなっているため、単価の高い重衣料の動き出しが遅れると予想している。店舗の会員向け販売を強化しているが、インバウンドを中心に人の流れが変わる可能性がある。
		コンビニ（経営者）	・大阪・関西万博の閉幕により、来客数の減少傾向が予想される。
		コンビニ（経営者）	・大阪・関西万博が終わり、インバウンドや地方からの国内客も減少するため、従来の客に満足してもらうためのセルフのホットスナックを導入し、売上をカバーする。
		コンビニ（店員）	・大阪・関西万博が閉幕すれば、大阪を訪れる観光客が減るため、来客数も減ることが予想される。
		衣料品専門店（販売担当）	・大阪・関西万博が閉幕してインバウンドが減少するため、売行きが悪くなると予想される。
		家電量販店（営業担当）	・大阪・関西万博も来月に終わるため、それ以降の関西の景気動向が心配である。
		タクシー運転手	・大阪・関西万博が終わりに近づき、気候も良くなるため、タクシーの利用が減る。
		タクシー運転手	・10月13日の大阪・関西万博の閉幕による影響が懸念される。
	悪くなる	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・大阪・関西万博の終了に伴う、来客数の落ち込みが予想される。
		都市型ホテル（総務担当）	・大阪・関西万博の終了による影響が出る。
企業動向関連	変わらない	輸送用機械器具製造業（経営者）	・11月頃は気温はまだ下がっていないため、通常の購買の動きが期待される。大阪・関西万博が閉幕し、期間限定で使用していた物など、当社の扱っている製品の中古品などが流通する可能性もあるなか、どのような影響が出るかは不透明である。
		経営コンサルタント	・商店街の店主は、大阪・関西万博が終了した途端に来街者が減るとは考えていないが、インバウンドの増加による弊害に嫌気が差している部分もある。
	やや悪くなる	食料品製造業（営業担当）	・10月13日で大阪・関西万博が閉幕し、外国人観光客も減少するため、飲料の売上はやや悪くなる。
		食料品製造業（管理担当）	・大阪・関西万博が終了するため、やや悪くなる。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・大阪・関西万博の閉幕後の、年末に向けた動きが予想しにくい。問合せなどの状況から判断すると、販売の若干の減少が予想される。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・大阪・関西万博の閉幕後は、関西への訪問客が大幅に減少すると予想されるが、外国人客には一定の来訪が見込まれる。
雇用関連	やや良くなる	民間職業紹介機関（営業担当）	・大阪・関西万博での就業者による再就労の動きに加え、年末に向けた動きによって求人数が増える。
	変わらない	人材派遣会社（管理担当）	・大阪・関西万博の開催も残すところ僅かとなり、万博への人材提供は減少に向かう。一方、閉幕後は万博での就業者が一般案件に流れてくることが期待される。
		その他雇用の動向を把握できる者	・大阪・関西万博の開催中は、インバウンドの増加などで活発な動きがみられたが、今後は万博の閉幕による影響が懸念される。

(D I の推移)



(近畿地域のDI)

		23年				24年				25年																
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
現状判断	近畿	51.9	49.2	51.4	52.0	51.1	53.8	50.3	48.7	47.1	48.3	48.4	47.8	46.3	47.2	48.7	51.1	50.0	46.4	44.7	44.3	45.1	45.6	42.9	44.9	49.6
	(全国)	50.6	49.9	49.8	51.0	50.7	50.9	49.8	48.1	46.4	47.3	48.0	48.9	48.0	47.0	48.6	49.0	48.6	45.6	45.1	42.6	44.4	45.0	45.2	46.7	47.1
先行き判断	近畿	49.8	48.5	49.9	52.1	52.8	52.1	49.8	48.3	46.5	47.9	48.7	49.4	49.1	49.2	50.0	49.6	48.8	48.8	48.0	44.1	44.8	44.7	44.9	46.8	46.5
	(全国)	49.8	49.9	50.7	51.2	52.1	51.8	50.6	48.8	46.4	48.1	48.8	50.2	49.5	48.7	49.8	49.4	48.0	46.6	45.2	42.7	44.8	45.9	47.3	47.5	48.5

※季節調整値